

理事長交代のお知らせ

組合会議員の任期満了に伴う改選により、松岡 裕司 前理事長（津山信用金庫）に代わって、向井 淳滋 新理事長（呉信用金庫）が選任されました。

就任のご挨拶

新理事長
向井 淳滋



このたび、松岡前理事長の後任として、理事長に就任することになりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

当健康保険組合は、昭和51年に設立され、今まで順調な事業運営が図られてきましたことは、歴代理事長をはじめ役員各位のご努力と、組合員みなさまのご理解とご協力の賜物と深く敬意を表するものです。

高齢社会の一層の進展と医療の高度化に伴い、医療費が増加し、納付金等の負担が増すことにより、健康保険組合を取り巻く環境は今後さらに厳しくなると予想されています。

このような厳しい将来予想ですが、管内の信用金庫及び関連会社の健康保険組合として、今後とも、健康保険組合のメリットである保健事業や福利厚生事業を生かして、組合員の健康の保持増進と福祉の向上に努めてまいります。

健康保険組合の健全な運営にむけ、みなさまのご指導のもと微力ではありますが最善を尽くしてまいり所存ですので、松岡前理事長同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。わたくしの就任のご挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶

前理事長
松岡 裕司



このたび、当健康保険組合の理事長を退任することになりました。

平成27年7月に理事長に就任以来、理事及び議員、ならびに被保険者、ご家族のみなさまのご理解・ご協力により、大過なく努めることができました。ここに厚くお礼申し上げます。

振り返ってみますと、平成20年度から新たな高齢者医療制度が創設され、支援金・納付金の負担が増大するとともに、高齢化と医療技術の向上に伴う医療費の高騰により当健康保険組合の財政はたいへん厳しい状況となり、平成29年度から保険料率を引き上げさせていただきました。それにより、新たにインフルエンザの予防接種補助や30歳・

35歳被保険者の節目健診の実施、被扶養配偶者の健診に特定健診のみの受診を可能とするなど、健康保険組合のメリットである保健事業の充実を図ってまいりました。

今後も厳しい諸情勢のなかで健康保険組合の運営には一段と創意工夫が要求されることになるでしょう。みなさまにおかれましても健康の重要性和自己管理の大切さを再認識されることを願ってやみません。

なにとぞ、向井新理事長のもと、一致協力して当健康保険組合の健全なる発展にお力添えいただきますようお願い申し上げます。退任のご挨拶といたします。